

インフルエンザウイルス検査情報

東京都立衛生研究所

(1) コメント

都内定点、および集団発生の学校から衛生研究所に搬入された検体からAH1、AH3、Bのインフルエンザウイルスが分離されている。

先週は祭日の影響で定点当たりのインフルエンザ患者数は若干減少したが、今週は再び増加に転じた。

広島県でC型のインフルエンザウイルスが検出された。

(2) 週別検体数・陽性数

病原体検査状況

患者発生状況

週	検体数	INF 陽性数	検出インフルエンザ			その他の検出 ウイルス(陽性数)	定点報告 患者数(人)	報告患者数 (定点当り)
			AH1	AH3	B			
45週 (11/05-11/11)	15	0	0	0	0	RS(1)	5	0.03
46週 (11/12-11/18)	22	0	0	0	0	AD(2), RS(1)	7	0.04
47週 (11/19-11/25)	21	1	0	0	1	AD(1), RS(1)	8	0.04
48週 (11/26-12/02)	21	0	0	0	0	AD(3), RS(1)	11	0.06
49週 (12/03-12/09)	30	0	0	0	0	AD(3)	24	0.13
50週 (12/10-12/16)	23	0	0	0	0	AD(4)	26	0.15
51週 (12/17-12/23)	24	1	0	1	0		32	0.18
52週 (12/24-12/30)	18	0	0	0	0	AD(3)	26	0.15
1週 (12/31-01/06)	2	0	0	0	0		8	0.04
2週 (01/07-01/13)	31	2	1	1	0	AD(5)	87	0.49
3週 (01/14-01/20)	21	7	5	2	0		162	0.91
4週 (01/21-01/27)	41	13	5	8	0	AD(2)	495	2.78
5週 (01/28-02/03)	53	11	2	9	0	AD(3)	1153	6.51
6週 (02/04-02/10)	66	22	5	15	2	AD(4)	2219	12.47
7週 (02/11-02/17)	58	29	8	18	3	AD(3)	2124	11.93
8週 (02/18-02/24)	65	28	7	21	0	AD(1)	2464	13.84
9週 (02/25-03/03)								
10週 (03/04-03/10)								
計	511	114	33	75	6			

注) INF:インフルエンザウイルス AD:アデノウイルス RS:RSウイルス

注) 検体の臨床診断名はインフルエンザ(様疾患、疑いを含む)のほか、上・下気道炎などとなっています

注) 検査結果はPCR法によるものです

注) 患者数は、感染症発生動向調査の小児科・インフルエンザ定点からの報告数です

(3) 地区別ウイルス検出状況

週	定点所在地	陽性数	インフルエンザウイルス			その他の検出ウイルス (陽性数)
			Aノ連型(H1)	A香港型(H3)	B	
8週	千代田区	2		2		
	港区					
	新宿区	14	4	10		AD(1)
	文京区					
	墨田区	4	2	2		
	大田区					
	渋谷区					
	中野区					
	豊島区					
	板橋区	1		1		
	八王子市	1		1		
	立川市	2	1	1		
	武蔵野市					
	青梅市					
	府中市					
	昭島市					
	小平市					
	清瀬市					
	武蔵村山市					
	多摩市	1		1		
稲城市	1		1			
あきる野市	2		2			
計	28	7	21			

注) 検査結果はPCR法によるものです

(4) 集団発生検出状況

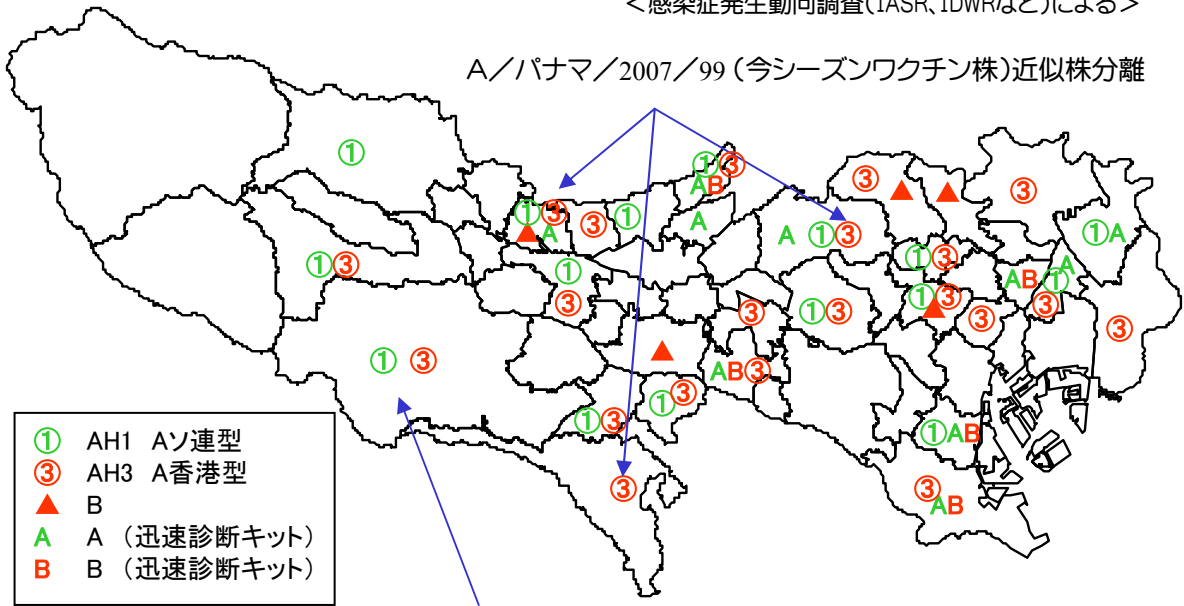
搬入日	所轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			その他のウイルス (陽性数)
					Aノ連型(AH1)	A香港型(AH3)	B型	
12月14日	池袋	小学校	5	0				
1月21日	三鷹武蔵野	小学校	5	5		5		
1月21日	八王子	中学校	5	5	5			
1月22日	練馬区	小学校	4	4		4		
1月22日	町田	小学校	3	2		2		
1月23日	大田区糎谷	小学校	2	2		2		
1月25日	府中小金井	中学校	3	3			3	
1月28日	村山大和	小学校	5	5		5		
1月28日	葛飾	中学校	3	3	3			
1月28日	多摩東村山	中学校	5	4	4			
1月28日	杉並	中学校	3	3	2	1		
1月29日	多摩川	小学校	5	5	5			
1月30日	中央区	小学校	4	0				
2月1日	江東区	小学校	5	0				
2月1日	品川区	中学校	2	2	2			
2月2日	狛江調布	中学校	5	5		5		
2月4日	南多摩	中学校	3	3	3			
2月5日	江戸川	小学校	2	2		2		
2月5日	足立	中学校	2	2		2		
2月8日	板橋区	小学校	4	3			3	
2月14日	渋谷区	小学校	3	0				
2月15日	島しょ大島出張所	中学校	3	3	3			
2月21日	墨田区本所	小学校	5	5		5		
2月25日	北区	小学校	3	3			3	
	計		89	69	27	33	9	

注) 検査結果はPCR法によるものです

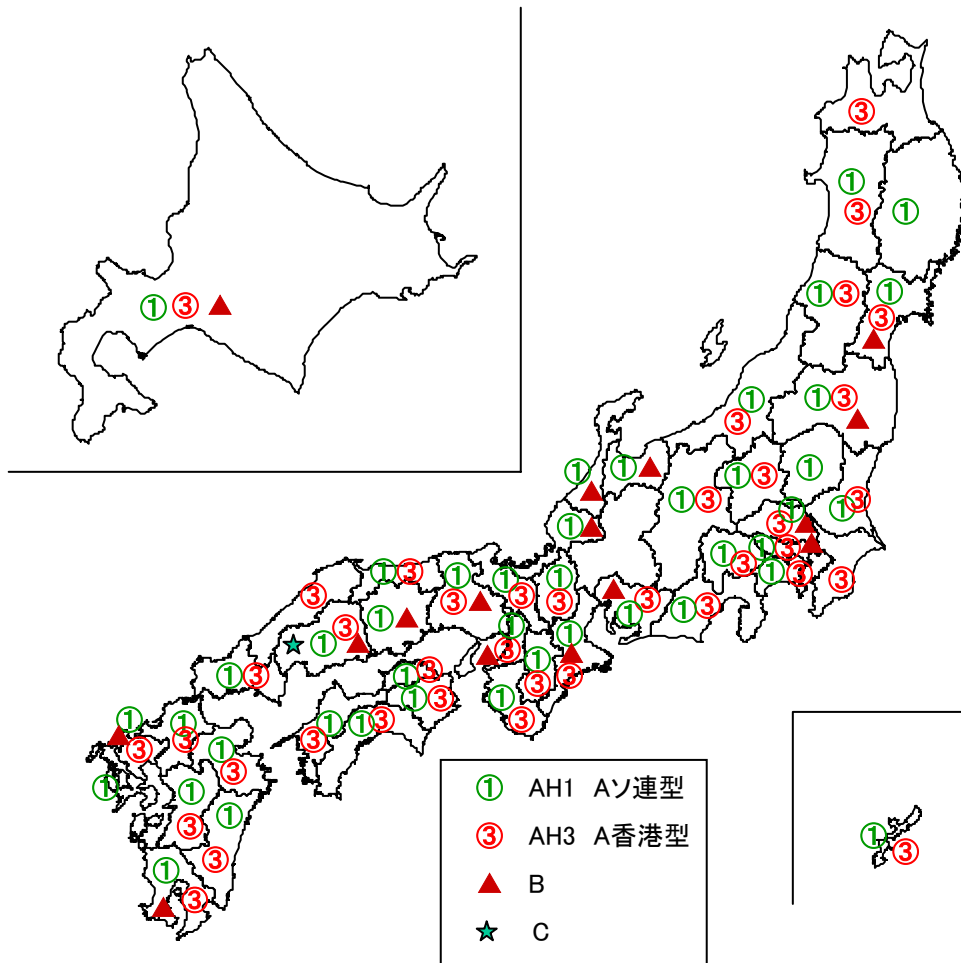
(5) ウイルス分離・検出状況

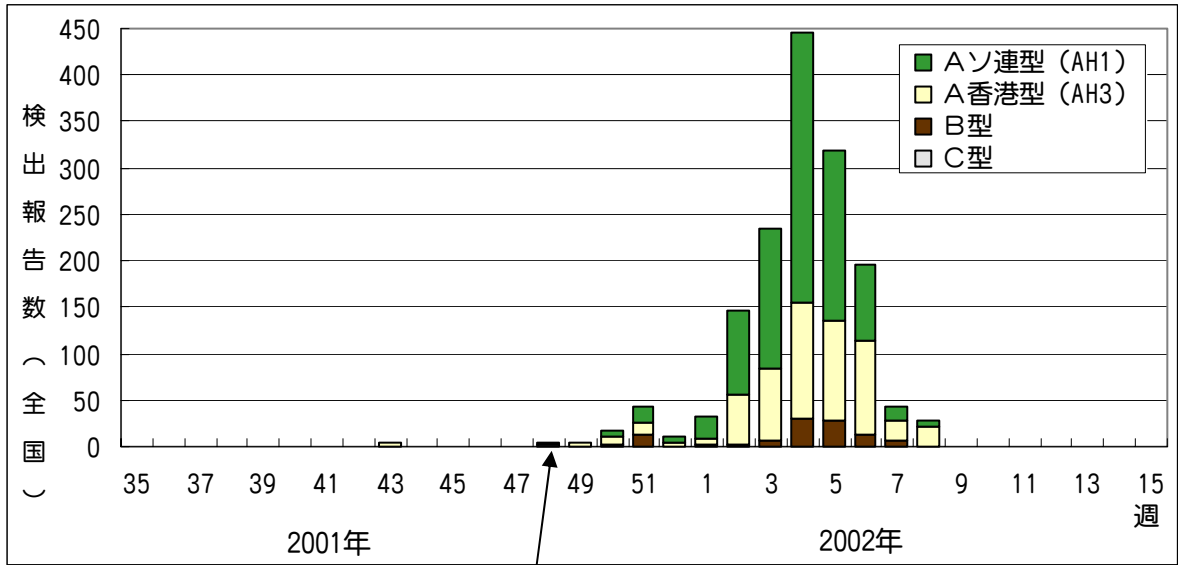
<感染症発生動向調査(IASR, IDWRなど)による>

A/パナマ/2007/99 (今シーズンワクチン株)近似株分離



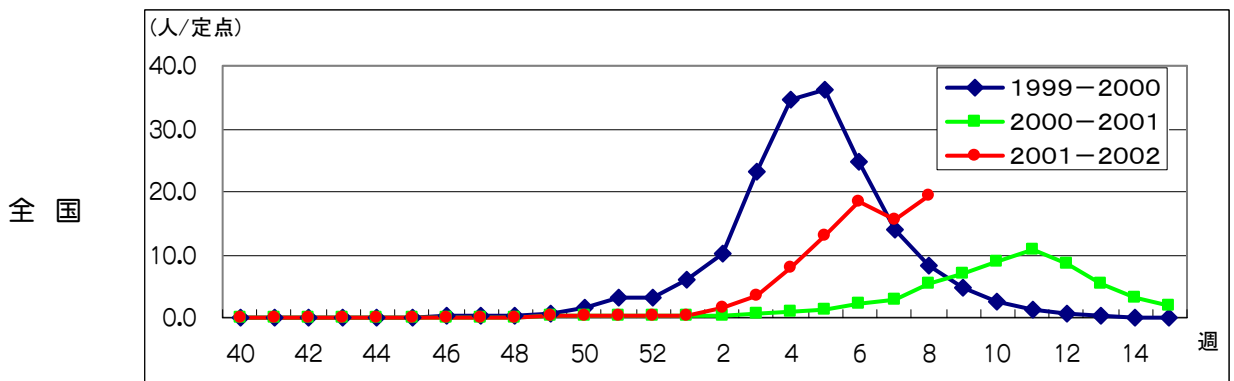
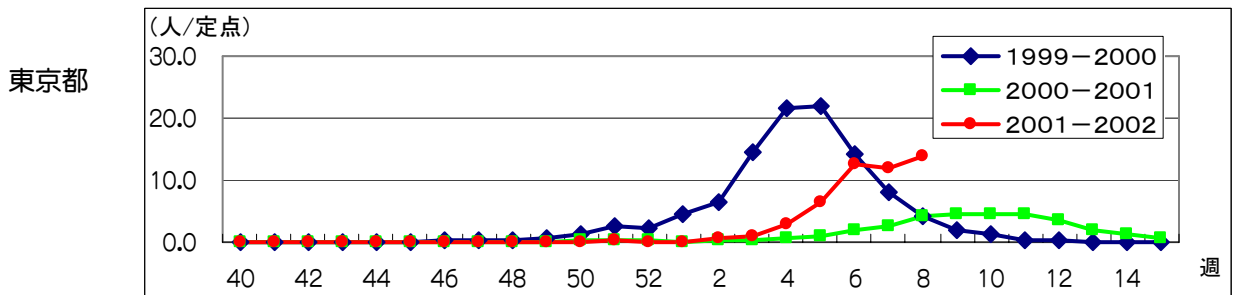
A/ニューカレドニア/20/99 (今シーズンワクチン株)近似株分離



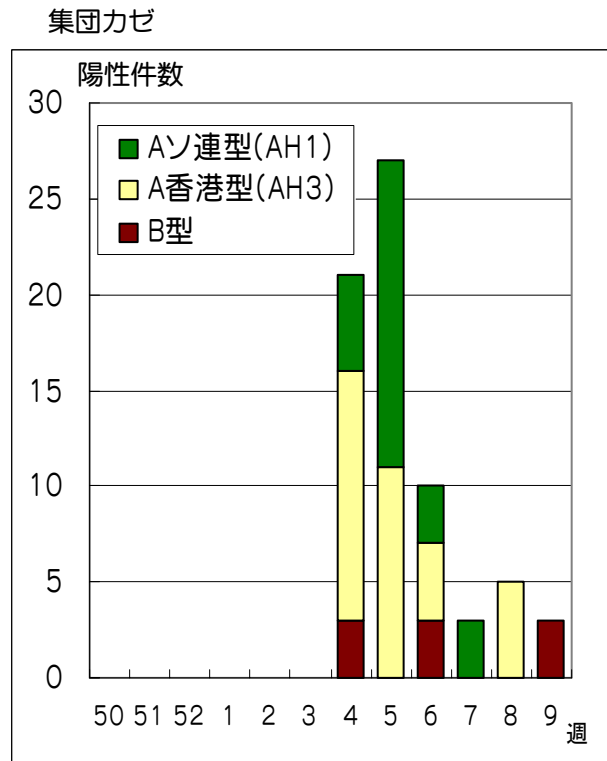
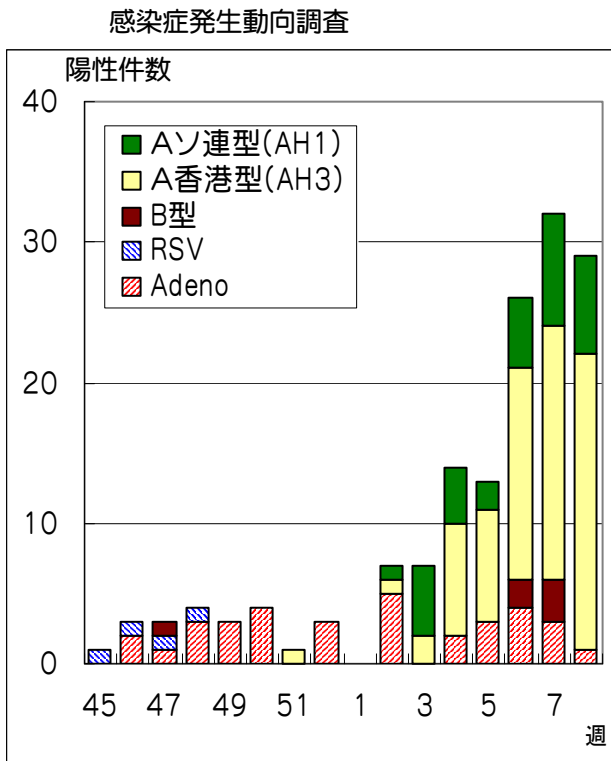


C型2件：広島県

(6) 定点報告患者数の推移



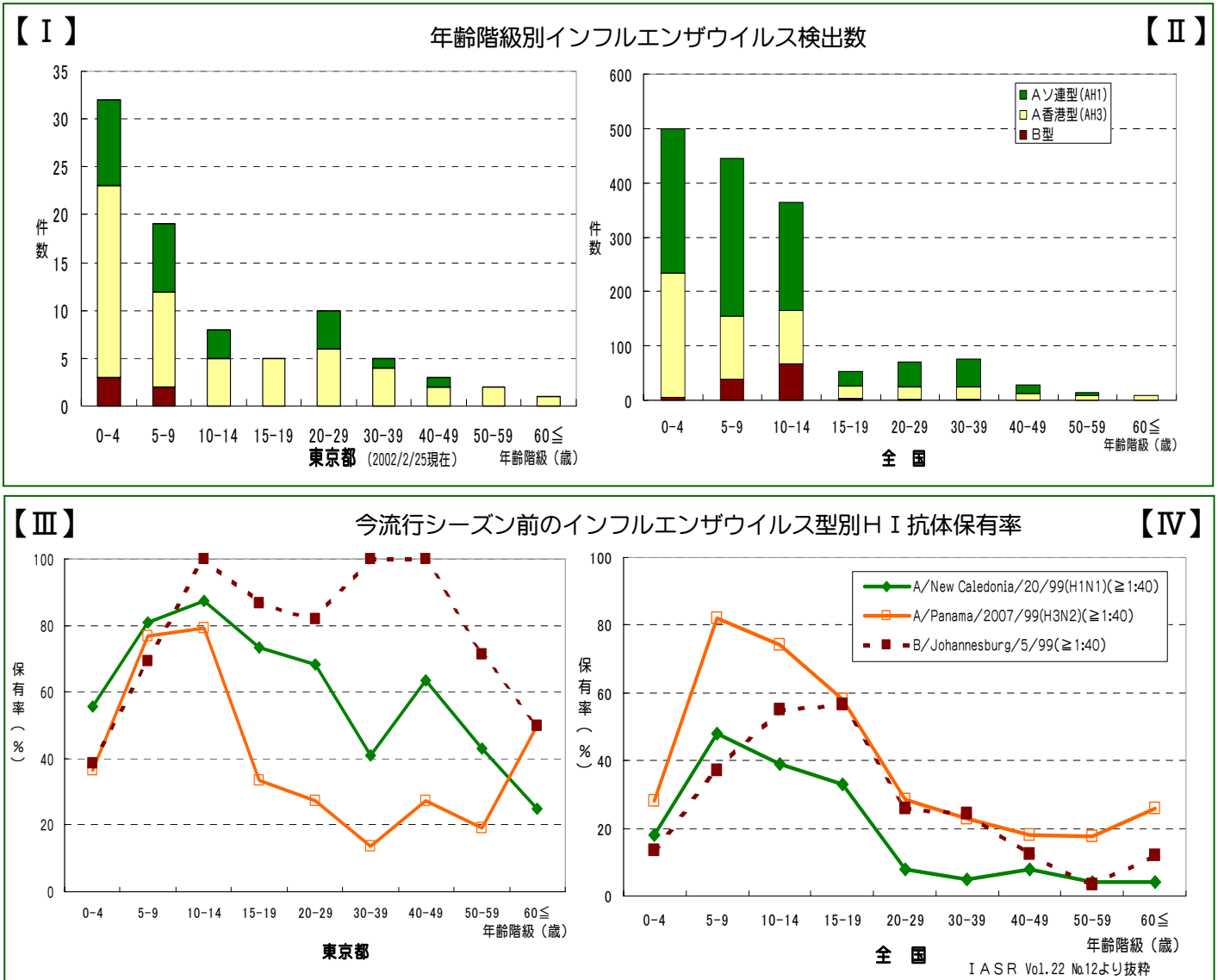
(7) 検出されたウイルスの推移 (東京都)



①感染症発生動向調査では、2週頃からそれまで検出されていたRSウイルス、アデノウイルスに加えインフルエンザウイルスが増加した。インフルエンザウイルスの亜型別ではA香港型が75件、Aソ連型が33件、B型が6件の順で検出されている。

②集団カゼからの検出ウイルスはA香港型が33件から、Aソ連型27件から検出されており、大きな差は見られない。B型は9件から検出されている。

(8) 今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況



今シーズン、衛生研究所に搬入された検体より検出されたインフルエンザウイルスの型別・年齢階級の割合は、60歳未満の年齢階層でA香港型が最も多く、Aソ連型がそれに続き、B型の割合はわずかとなっている【I】、また、全国ではAソ連型、A香港型の順に多く、B型はわずかとなっている【II】。

今シーズンの流行前に行ったインフルエンザウイルスに対する抗体保有調査によると、東京都ではAソ連型に対する抗体保有率が、A香港型のそれに比べて高く【III】、一方、全国ではA香港型に対する抗体保有率がAソ連型より高くなっていた【IV】。

Aソ連型とA香港型のウイルス検出割合は東京都、全国共に抗体保有率の低い型の方が高くなっている。B型に関しては、今シーズンの流行株が抗体調査の対象となったワクチン株と抗原的に遠いこともあり、抗体保有率と検出割合の間に関係は認められない。

編集・発行
東京都立衛生研究所微生物部ウイルス研究科
多摩支所微生物研究科
微生物部疫学情報室
〒169-0073 東京都新宿区百人町3-24-1
TEL : 03-3363-3213
FAX : 03-5332-7365
E-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp
ホームページ : www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

